

令和4年度第2回物部川清流保全推進協議会幹事会 議事要旨

開催日：令和5年2月16日（木）

場所（時間）：高知県立青少年センター 青少年ホール（14:00～15:15）

出席者：【幹事】18名（代理出席含む）

【事務局】自然共生課 2名

議題1 令和4年度物部川清流保全推進協議会の取組について（報告）

事務局より、資料に基づき説明

その他（情報共有・意見交換等）

【主な意見】

- ・ 先週ぐらいからアユの遡上の気配があるが、河口閉塞が続いている状況。今年の産卵状況は非常に良く、物部川以外の河川でもかなりのアユが確認されている。今朝、吉川の港でジャコにまざった稚魚を確認したが、3月中旬までにいかにアユを守る状態にするか。死活的に大事なことである。
- ・ イベントの紹介として、2月18日に香美市で生涯学習フォーラムで、楠目小学校の4年生が環境学習について発表を行うようにしている。漁協にも協力いただいた学習の発表なのでご覧になっていただきたい。
- ・ 水環境勉強会の広報はいい試みだと思う。流域の市民に知っていただき、その中で物事を進めていくことは大事。また、子どもへの環境学習は未来を託す意味でもあらゆる機会を捉えて実施していただきたい。
- ・ 県ではアユ王国という目標を立てて進めているが、アユの資源管理を清流保全推進協議会でも具体的に考えていかなければならない。
- ・ 水利の問題について、具体的に何をしなければならぬか関係者で議論しなければいけない状況になっていると感じている。清流保全計画で定める目標の「山から海まで途切れなく水が流れる川」が実現出来ていない状況。水の有効利用の議論をまず最初に行わなければならない。
- ・ 農業でも濁水の影響はかなり大きい状況。協力できるところは協力したい気持ちだが、各地区の農業者の意見集約や理解が必要。また、農業者でも水田涵養での濁水流出防止等出来ることを実施していることも理解していただきたい。
- ・ ダムでの工事や放水については事前に説明をお願いしたい。